

（美乳エロかわ患者と催眠性治療変態ドクター）





山崎白  
美乳工口かわ患者と催眠性治療変態ドクター





いつまで経っても...

【第1話】

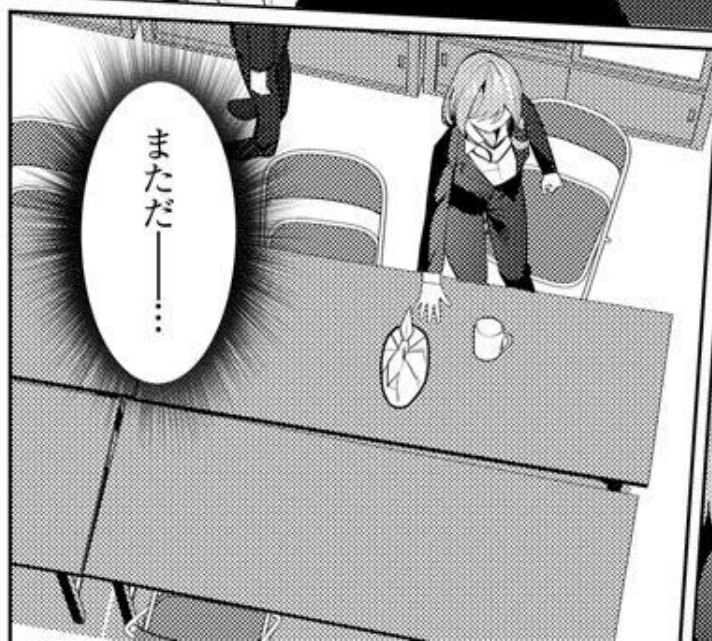
感じよるじやろうが漏らす時は言えよ

消えそうにない心の傷！...

拒絶しようとして繰り返す

フラッシュユバック







すいませーん  
つい

おい  
セクハラ



今日も  
色っぽいねえ

おお？

.....



ただニコニコして  
愛想振りまいて  
おけば  
かわいがって  
もらえるよ

おじさんたちは  
若い子の笑顔が  
大好物なの



あんたも  
なんか言い  
返しなさいよね

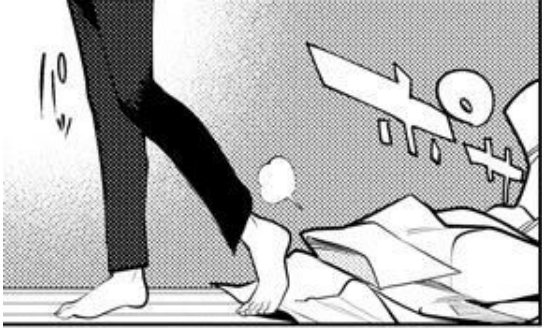
別に  
平気です

まったく



パパと  
呼ばないから  
こうなるんだ



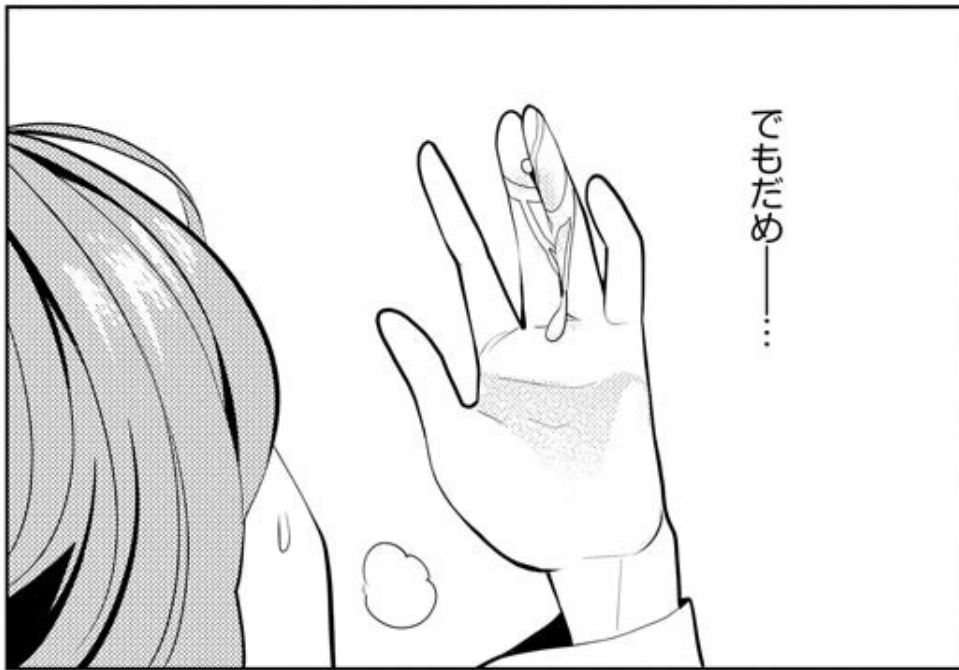


フラッシュバックの  
あった日は  
いつもこうだ...



本当は  
疼うずいてるのかも  
しれない

あんなふう  
にめちやくちや  
に攻めてほし  
くてたまらな  
いから  
身体は訴え  
ているのかも  
しれない




でもだめ……



イヤ……

もうやめて……

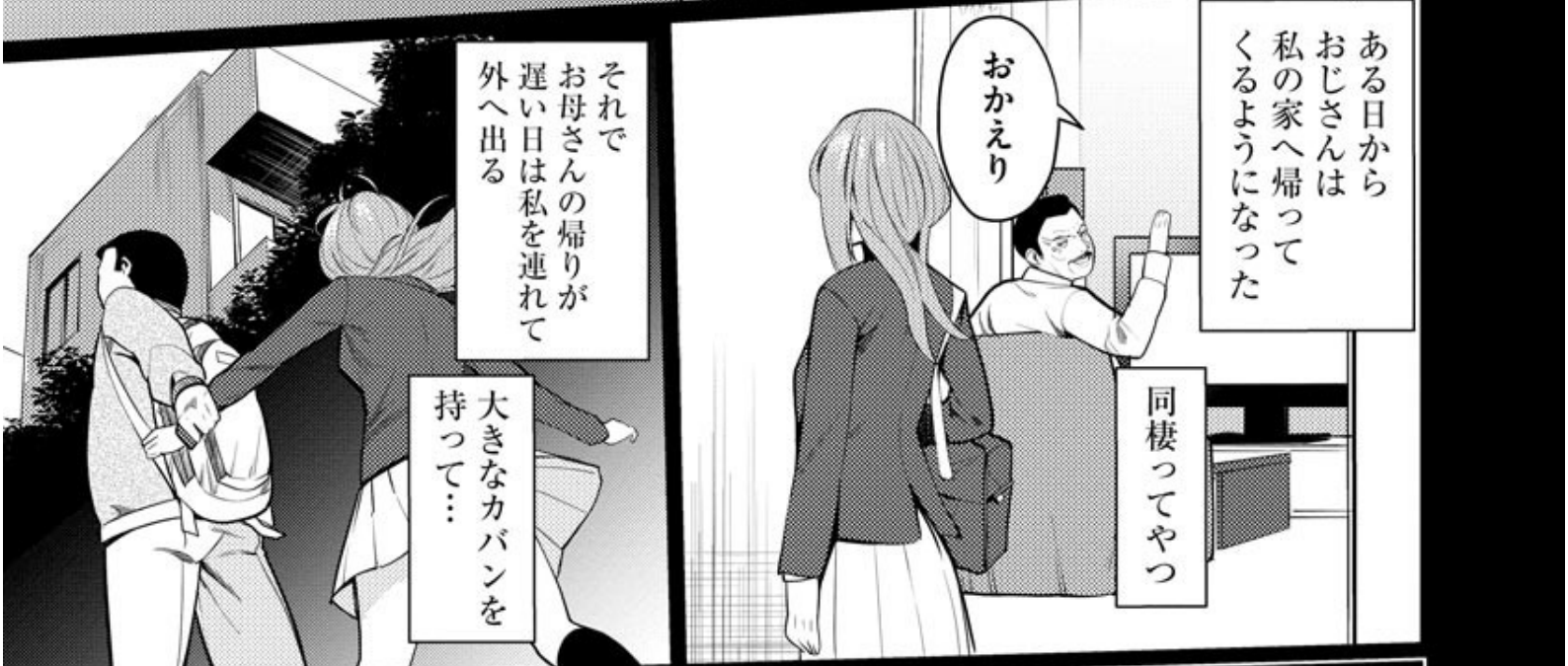
もう私を  
苦しめないで……



おじさんは  
お母さんの  
新しい恋人

優しい人よ  
ってお母さんは  
言うけれど…

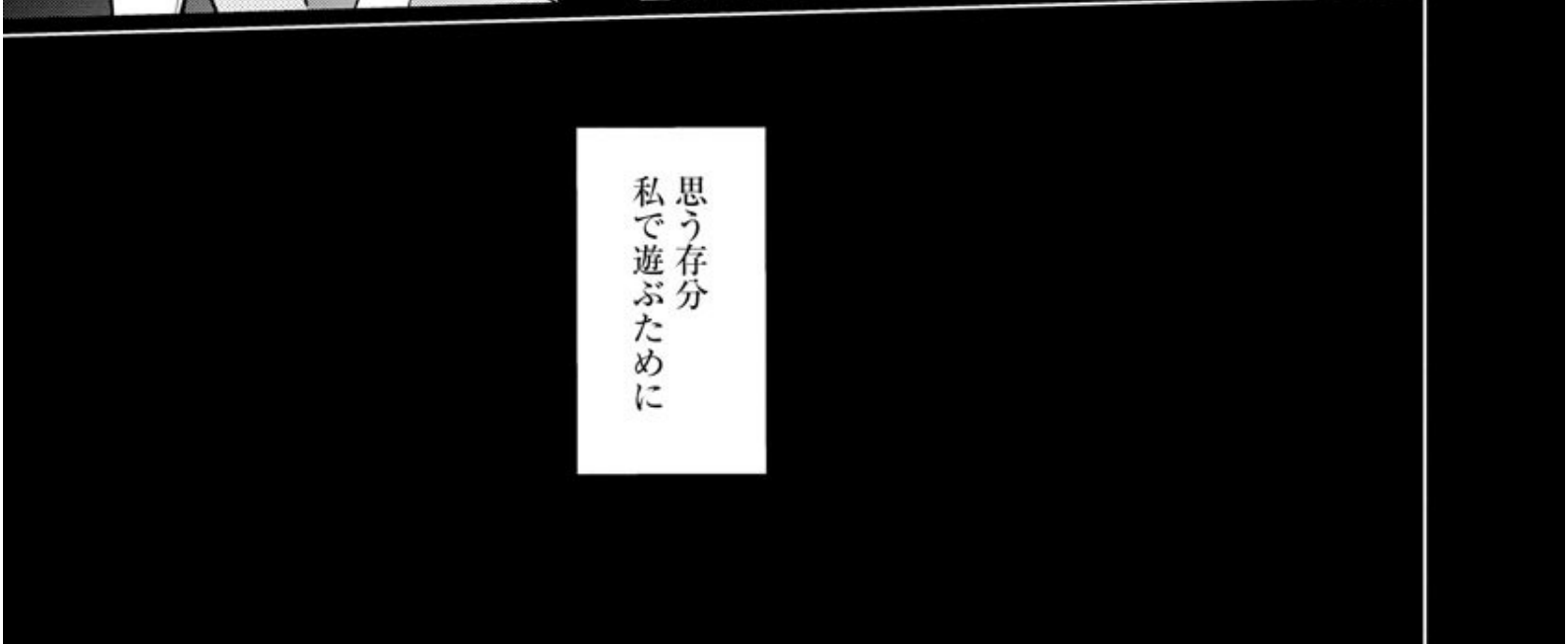
お母さんの  
前でだけ



ある日から  
おじさんは  
私の家へ帰って  
くるようになった

おかえり

同棲ってやつ



それで  
お母さんの帰りが  
遅い日は私を連れて  
外へ出る

大きなカバンを  
持って…

思う存分  
私で遊ぶために



もうやめてええ

身体は  
喜んどのくせに  
何言っとなるんじや



万一子どもが  
できたら困るからの  
次はこれじや

再婚相手に  
こんな純朴そうで  
かわいい子がおるとは

これからも  
かわいいがってやるよ

しかもこの子

気持ちよくなると  
失禁する…

なかなか  
そそられる  
のう

ネットにあげれば  
俺は一躍有名人  
じゃ

お母さんが  
知っているのか  
どうかは知らない

お母さんには  
話さなかったから



おじさんは過去の人になった

そんな  
トラウマを抱えながら  
大学に入ると同時に  
ひとり暮らしを始め



ただ  
私が知っているのは  
おじさんが私の乱れている  
動画を撮ってネットに  
あげていたこと

PV数を稼いで  
有名人気分を  
味わいたかったんだと  
思う

私にはどうでもいい  
ことだけ



快適な日々だった

就職したホテルは  
環境が良く  
なかったけど

他の人と  
なれ合わないのが  
功を奏して厳しい  
先輩からは  
気に入られてるし

まあ周りの  
いびりなんかは  
正直いいものでは  
ないけど…



社会人になって  
改名したらもう  
大丈夫だと思った

それなりに  
悪くない生活は  
できるし

他の人と関わらない  
ようにしていれば  
フラッシュバックが  
起こることも  
ほとんどなかった



克服する方法って  
ないのかな…

…にしても

何これ…

不安解消、トラウマ解消等

福島式催眠法研究所では様々な不安を抱いている方を支えるために日々運営を営んでおります。どんな方にも対応できるようお電話での受付、メールの受付しております。気軽にご相談ください

# 催眠術で悩みを

福島式催眠



催眠術師の  
福島と申します

ようこそ  
ふくしま  
福島式催眠法研究所へ







啜くわえろや







今日はここまでご  
しましよう

大丈夫  
焦らないのが  
回復への一番の  
近道ですよ

今日は  
研究所まで来た  
それだけで大きな  
進歩です

その上施術を  
受けたんですから  
順調です

この人なら……

また

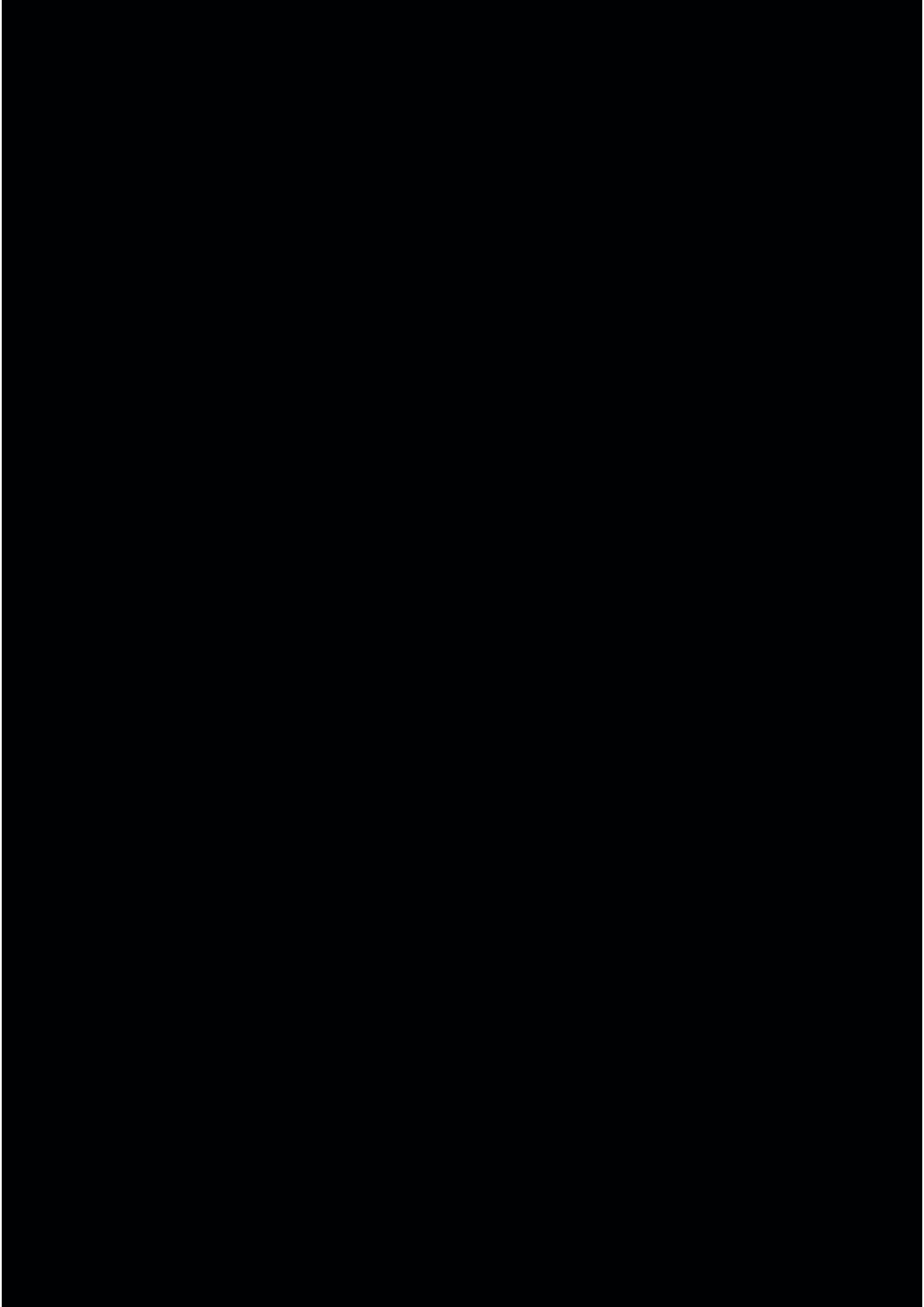
お願いします

信頼できるかも……





***To be Continued...***



【第2話】



いくぞ

おら



私は数年前  
母親の再婚相手に  
弄もよぼばれた

はは休むなよ

ひっ!?

黙っていることを  
いいことに  
好き放題された

今でもたまたま  
こうやって  
思い出す

はやくー

忘れたいのに…





2回目の  
施術

性的なトラウマを  
治療したい女性：

しかし催眠状態  
とはいえ：

すっごい  
エロいな  
この子

少しくらい  
なら：

うお

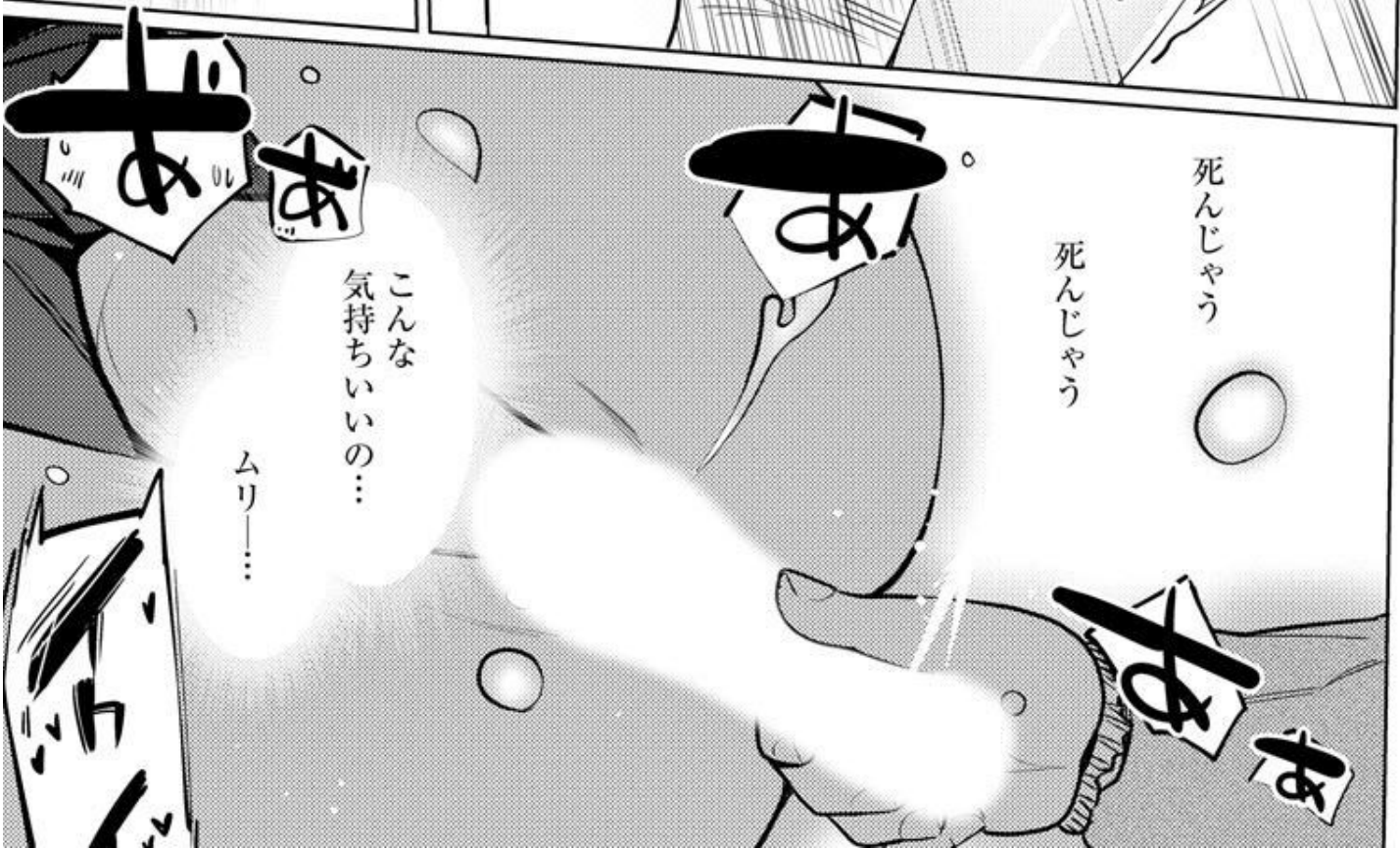
やわらけー



刺激が強いー!!



やっぱり  
いつもより



死んじやう

死んじやう

こんな  
気持ちいいの…

ムリ…



今日はもう  
このくらいに  
しておきましょう  
どうやら長期戦に  
なりそうですね

はははは  
失礼  
施術の一環で…



はい

えなに？  
先生  
今私の体を…!?

# HOPEL

翌日



受付



あの時  
目が覚めたら  
福島さんが  
私の体を触って  
いた……

施術の  
一環なんて嘘……

……施設を  
変えようかな

ハイ





おいおい  
姫菜ちゃん



何ぼーっと  
してるんだ



仕事中くらい  
集中しなよ

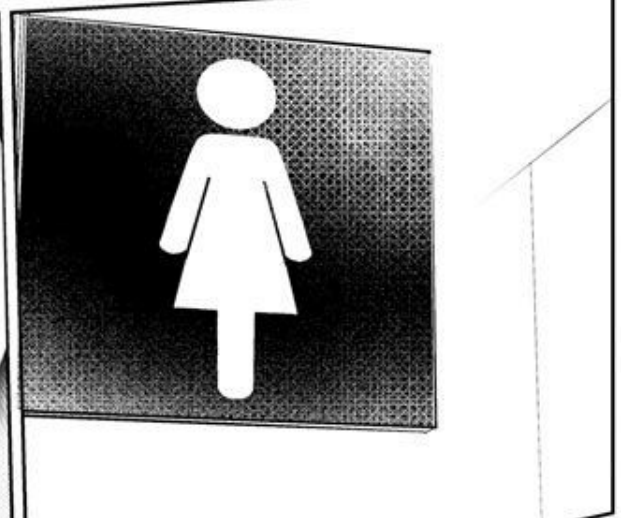
だから  
君は—

しまった—



くる

くる





おじさん!?



嘘……

こんな鮮明なのは  
今までに一度も……



耐えろっ

声でちやう

職場なのに



耐えるんだ!!



大丈夫ですよ

私の脳内で  
起きてること!!

これは  
トラウマ



ふ 福島先生!

私にゆだねて  
ください



なんで

私のトラウマに  
先生が!?



おじさんと

なんか

違っ—!!



どうして…

今のトラウマ…

嫌じゃ  
なかった

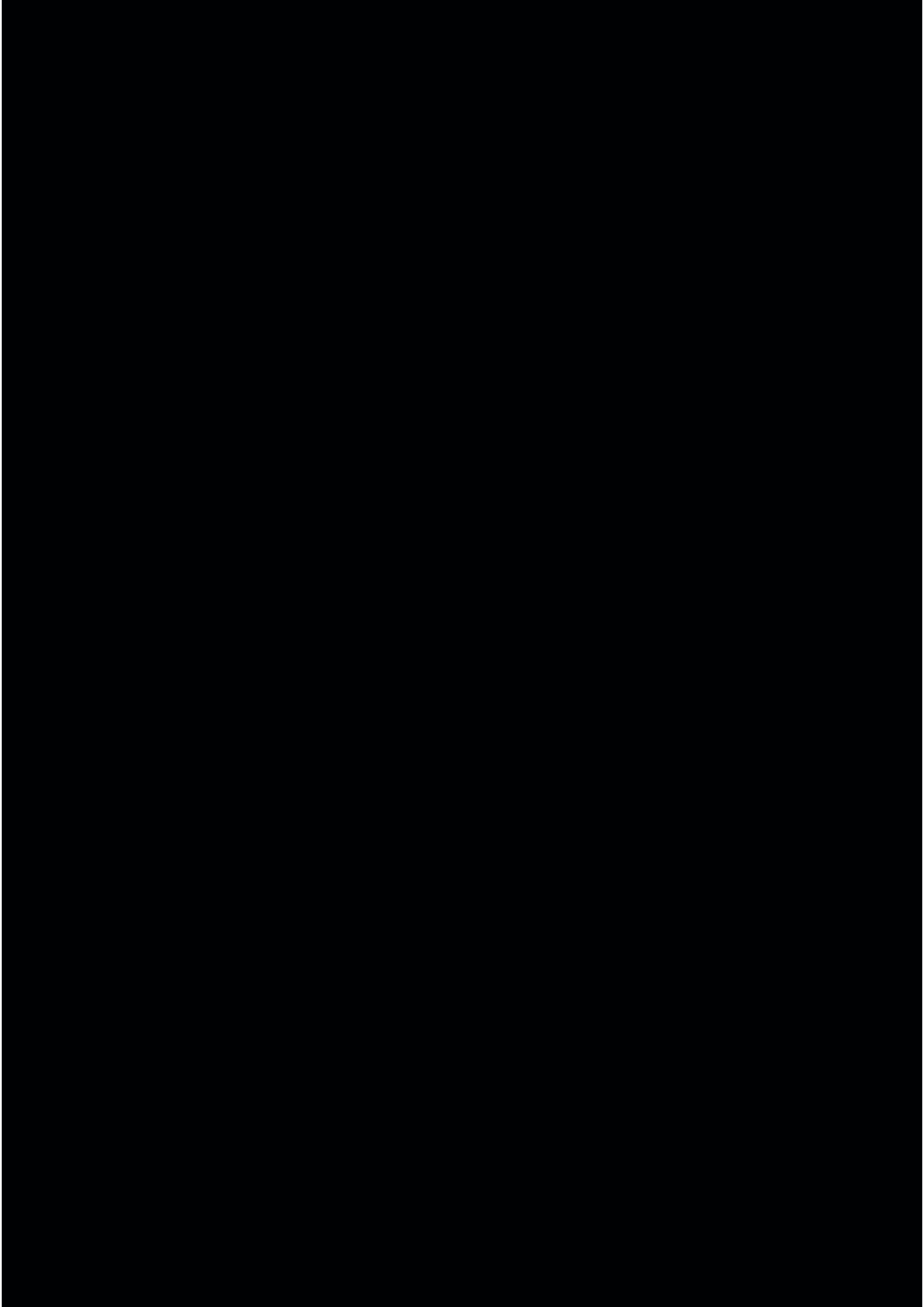


…福島先生  
ですか？

姫菜です  
次の予約を  
したくって



***To be Continued...***



【第3話】

ま待って

おじさん  
私初めて

初体験が  
おもちゃか

いいじゃないか  
おじさんのは  
入れないから

いや

ほら  
孕んだら  
困るしのう

痛いっ



けれども



からだ  
身体は強制的に  
絶頂させられ  
続け…

私の心を  
深く傷  
つけた…

このトラウマのせいで  
私はまだ男性との  
セックス経験がない

どうか  
しましたか？



素敵な人と  
一生を添い遂げる  
ためにも…



いつか恋愛をして

私は  
このトラウマに  
立ち向かう…

先生…今日も  
お願いします





では

始めますね



先生に  
触られると  
変な感じ…

気持ち悪く  
ない…

あなたは今  
実家のある●●県に  
住んでいて…

…あ

あれを  
見たせい？



身体が熱い…

私が3つ  
数えると

ずーんと身体が  
落ちていきます

意識が  
深い深い  
ところへ



あの日々の…

あれがくる…

いつもの

くる…



はい落ちる

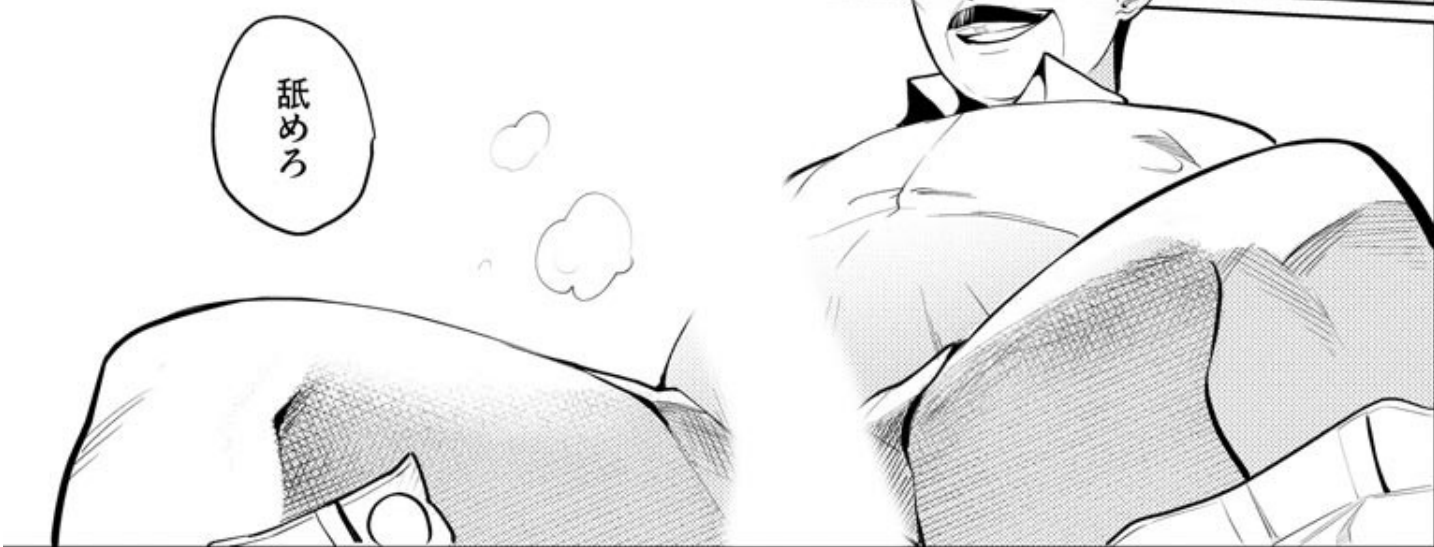
2

3

1



舐めろ



私のトラウマ

— 始まった





絶対

許さない



汚い臭い  
きもい

…大嫌い



乗り越える!!

お?  
なんじゃ  
その顔?

このトラウマを  
必ず…



もうちょっと  
声我慢せんと  
周りに聞こえるぞ？



だだ  
だめ…

気持ち  
よすぎる…



姫菜さん

姫菜さん

先生の声…!



昔はこんな  
じゃなかった…

先生の  
施術を受け  
始めてから…



いいですか

彼の好きに  
させては  
いけません

耐えるんです!!



耐える…

耐える…!!



何やって…

我慢できんわ  
すまんのう



え

ちよ!  
!?



こんなこと  
されなかった

ウンでしょ!?



入ったあ…



これが  
おち○ちん—!?

ゴッ



ひっ  
動かないでっ

おもちゃで  
慣らした分  
すんなり  
じゃのう



耐えないと…!!

耐えないと…!!

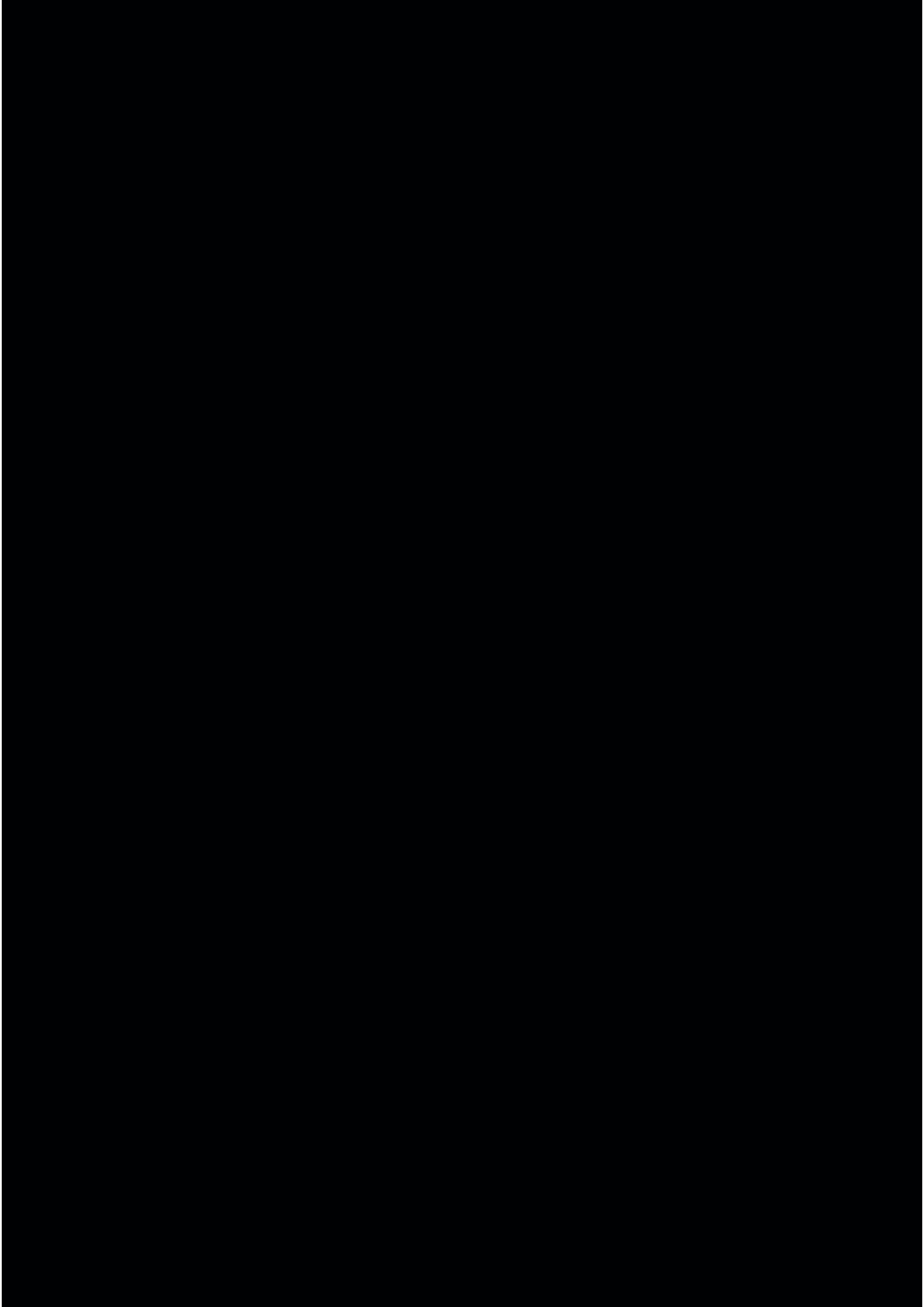








***To be Continued...***



【第4話】

では次の  
診察は  
来週の…

月曜に  
しましょうか

姫菜さん

姫菜さん？

なんだったの  
今の—





感触みたいなものが残って…

目が覚めたのに…





次回が楽しみだな



ふふふ







いただきます  
す



お...お...お  
入ったあ







催眠も  
解けてないしな

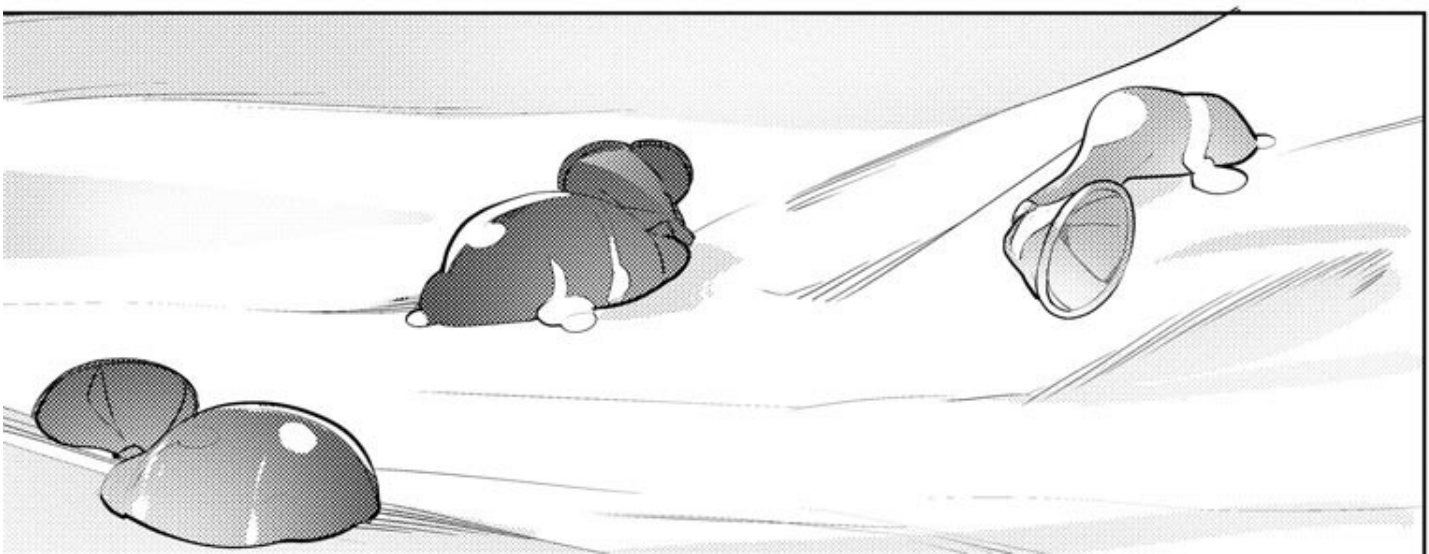


おー痙攣してる

ち○ぽ  
気に入って  
もらったのね

姫菜の  
知らない  
うちに…

俺の形に  
してやる









初セックスで  
潮か

かわいいよ  
姫菜



いや  
これは  
潮だろ



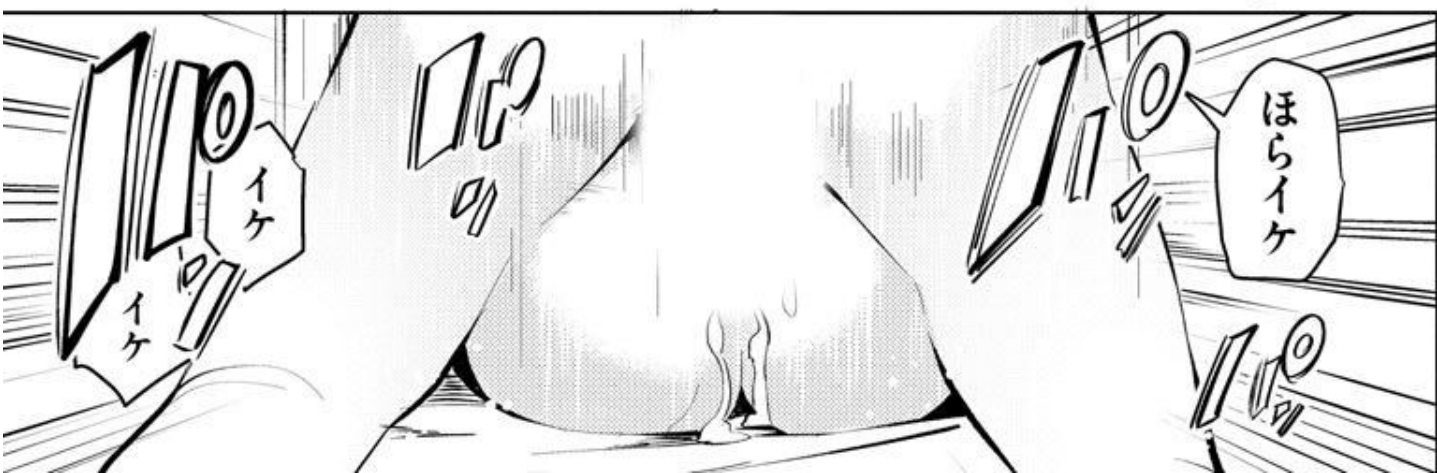
うわ  
これがいってた  
失禁かな



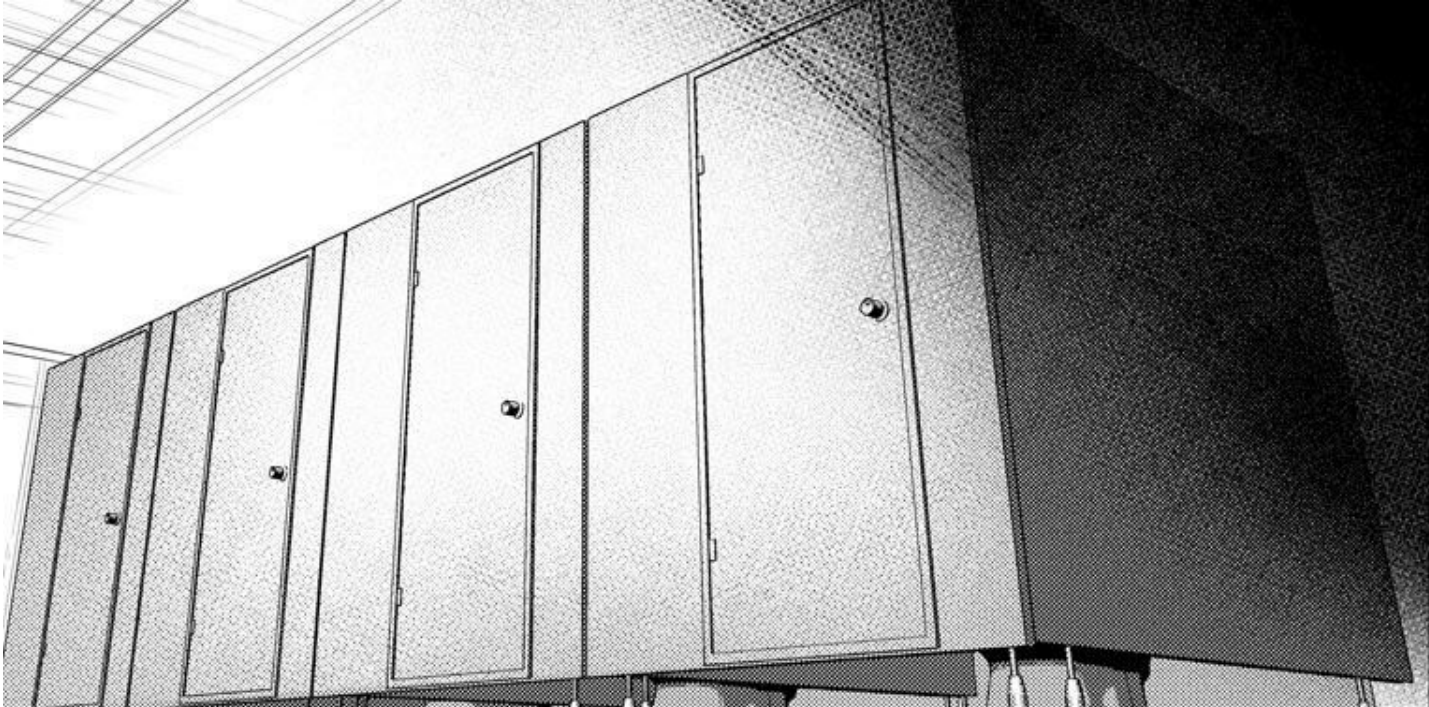
今どんな  
夢見てるの…

かな!?

ガッ







あれは  
私のトラウマ

しかも  
あんなこと

現実に  
起こってない



ダメ  
触っちゃダメ



なのこ…

なんでこんなに  
疼くの…

ダメなのに…

触ったら

ダメ

あ

は

あ

は

あ

は

は

は

は

あ

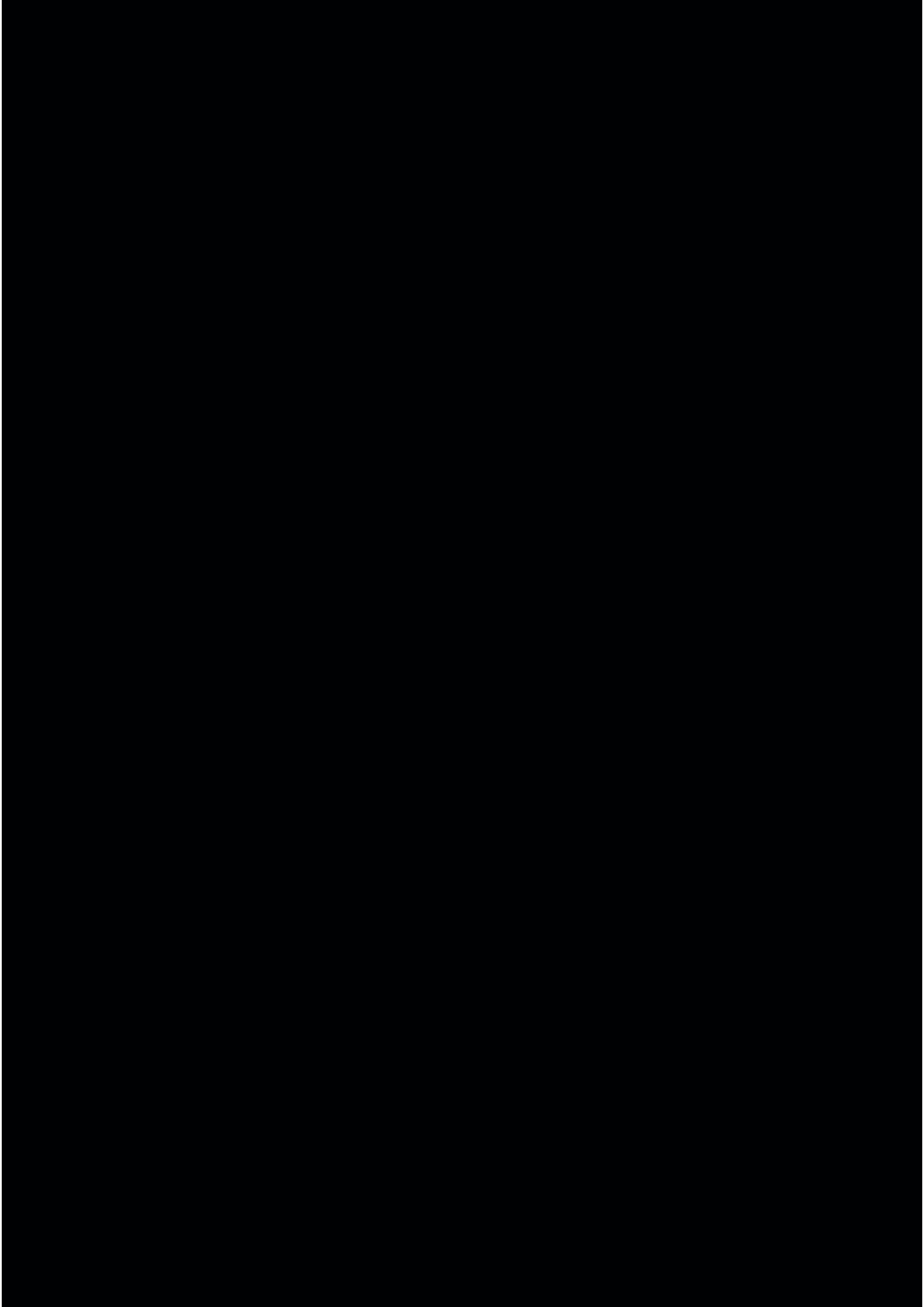
は

あ

あ



***To be Continued...***







おかしい

こんなの  
買っちゃって...

おもちゃなんて  
見るのもいやな  
ハズなのに

おはっ



おはっ

もっとしたい...!!

おはっ

おはっ



こんなの私  
じゃない!!

こんな変態じゃ

ない!!

本当にどう  
しちゃったの  
私

助けて…  
福島先生ツ!!



こんばんは

姫菜さん



本当にきて  
くれるなんて!!

いやー  
電話  
驚きました



いらっしやい…



こういうの本当は  
ダメなんですけど

切羽詰まって  
そうだったので…



私服の先生…

なんでだろう

ドキドキする



…あの  
なんか私

施術後から  
すごくて…

それで…  
どうしたん  
でしようか…？

その…

何？

性欲…が…



性欲…？

これも治療のせい  
なんでしようか…

ふーむ



どれ…

!?

ちよ

ちかつ



あっ



どき

どき

どき

せせんせ?





私もしかして

先生のこと好きなの…か…

!!!?



嫌じゃない…

むしろドキドキ  
してる…



先生!?

何してるんですか!?

カチカチ



な…っ

なあ…



わかるでしょ…？

姫菜さん…



いやいや  
おかしいでしょ

先生も  
やっぱり  
男の人  
なんだ…

早く  
逃げないと…



逃げちや  
ダメですよ



おっと

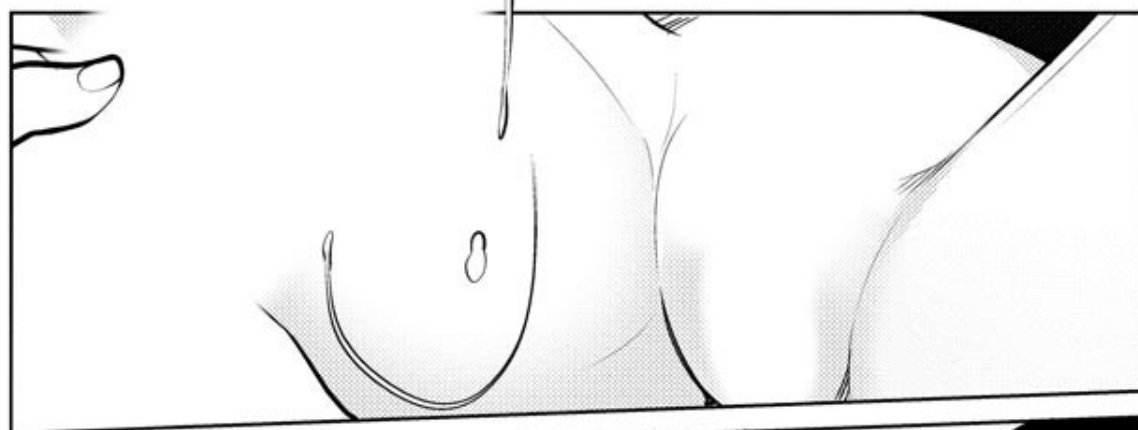


からだ  
身体が動かな…



え…

え!?



ややめ—





男の人が  
挿入って...

お甘い声

おもちゃと違って...  
変な...感じ...

でも...

コレ...  
知ってる...!?



生チ○ポですよ

こと

キッ



ほーら  
姫菜さん  
これが本物の



これで散々  
ならしてたんだ

今日とはことん  
墮としてやる



姫菜!!

ああ  
かわいいよ姫菜



そんな馬鹿な



ここ奥わかり  
ますか？  
気持ちいい？

くくるしですっ



ひっ!?



おー敏感



身体がおか

奥が...  
気持ちよす...ぎっ

バシ

バシ

バシ

バシ

うん...うん



バシ

バシ



あ  
もうだめもうだめ

頭おかしくなっちゃう  
イクイクイク  
イクイクイク



潮吹き絶頂かあ

すごいね姫菜



私

本当は  
これが  
ほしかったんだ...

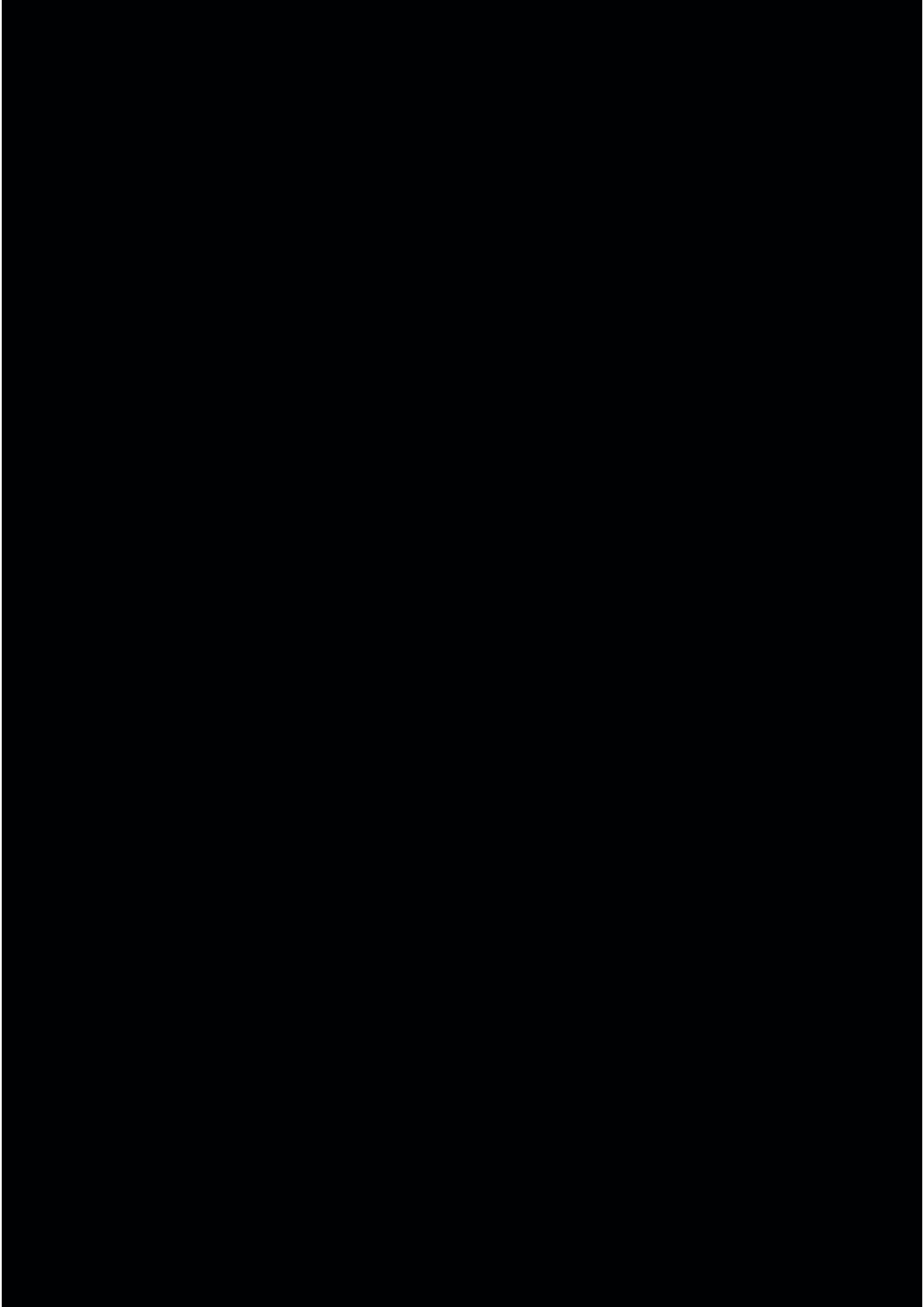


とび

ついで



***To be Continued...***




足りない

【第6話】




何かが  
足りない




あれから私と  
先生は「恋人」に  
なった

週に1度  
私のアパートで  
セックスしている



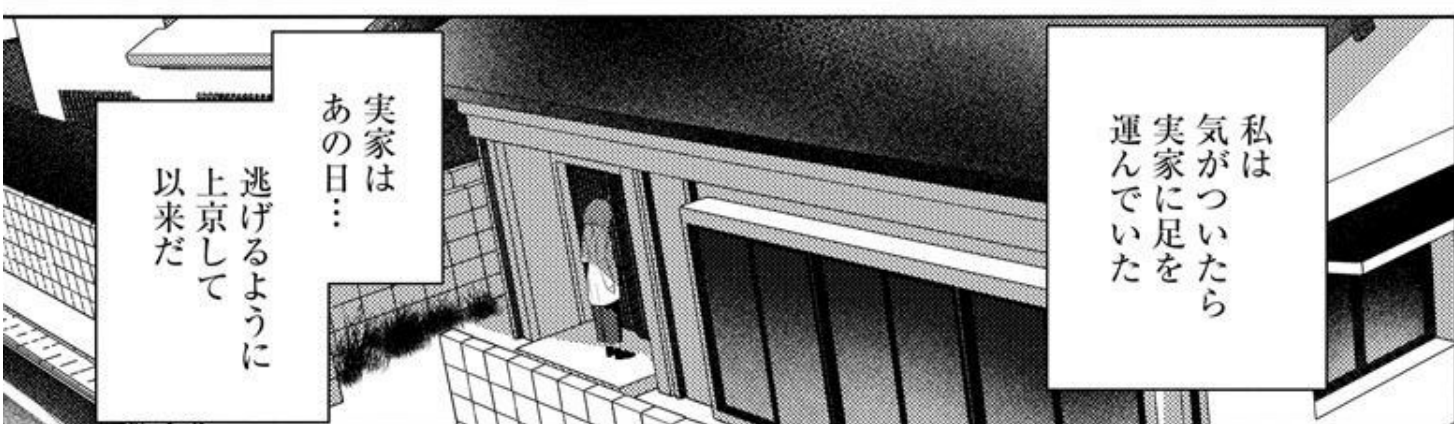
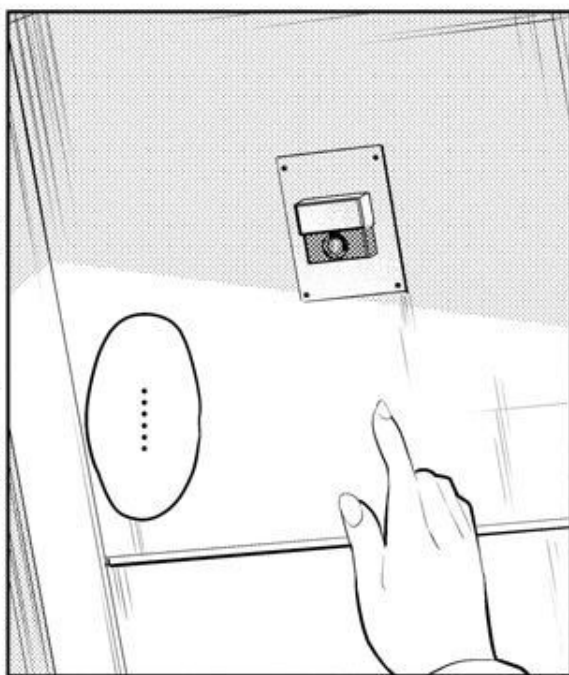
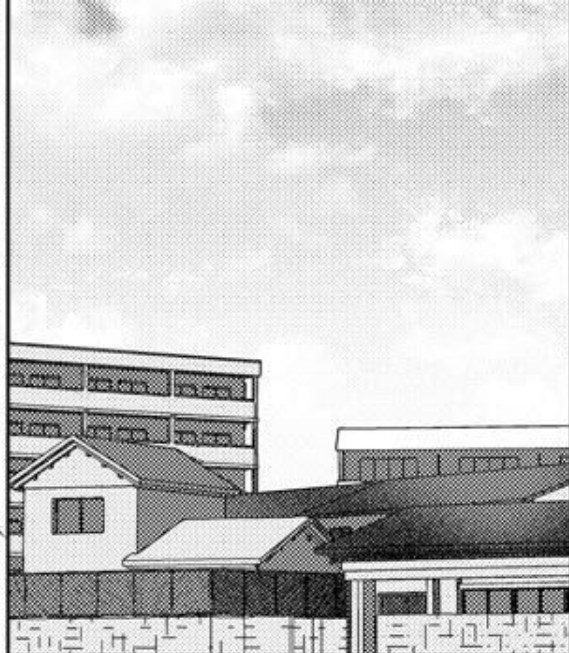
先生との  
セックスは  
気持ちいい

何度も絶頂するし  
気絶して朝を  
迎えることもある



でも何か  
足りない

そんな  
気がする



私は  
気がついたら  
実家に足を  
運んでいた

実家は  
あの日…

逃げるように  
上京して  
以来だ



どうして  
帰ってきた  
んだろう

ここには—





ずいぶん  
きれいな  
なったな

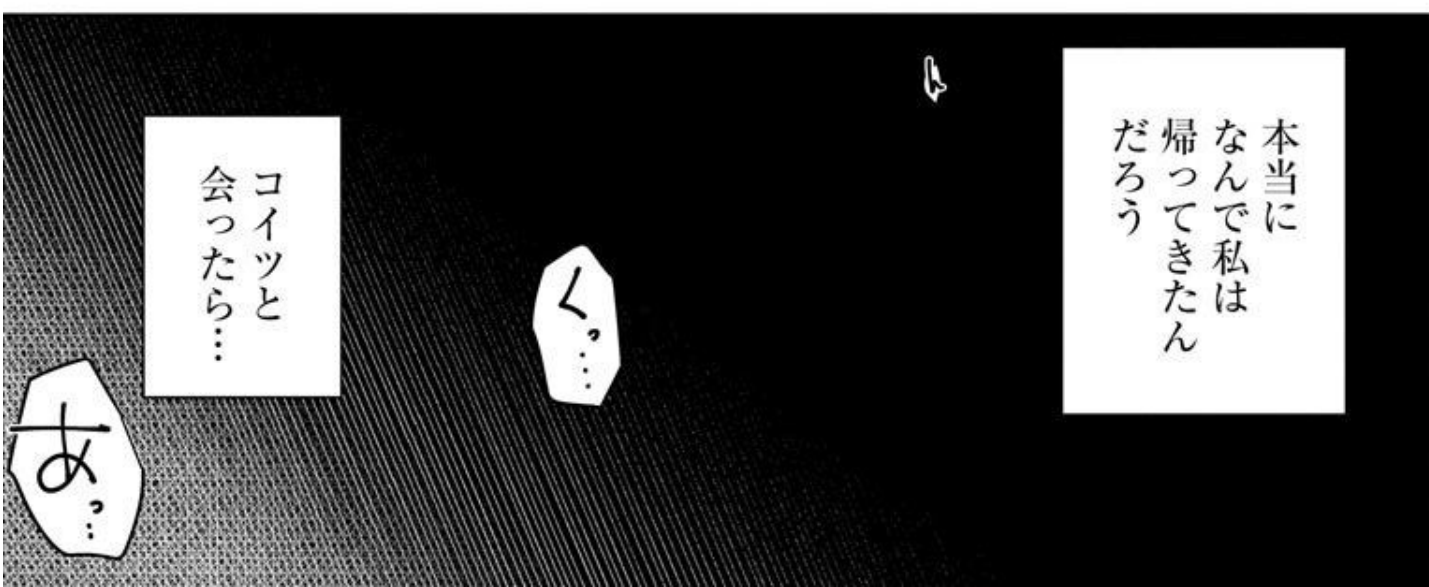
カッ



この親父は…

やっぱりきた…

きた…



本当に  
なんで私は  
帰ってきたん  
だろう

コイツと  
会ったら…

く…

あ…







こうなるって  
わかってた...

わかってたー



ハハハ...

いや



俺はてっきりおまえに  
嫌われてるか  
思ってたんだがな...

どうして  
こんなやつと  
セックスしようと  
してるんだ...

嫌なのに

...なるほどな

うるさい

さっさと  
終わらせて  
...!!

私  
何してるんだ

嫌...  
な...

はずなのに...

大きさは…  
先生と同じ  
くらい…

のはず…

けど…

なんか

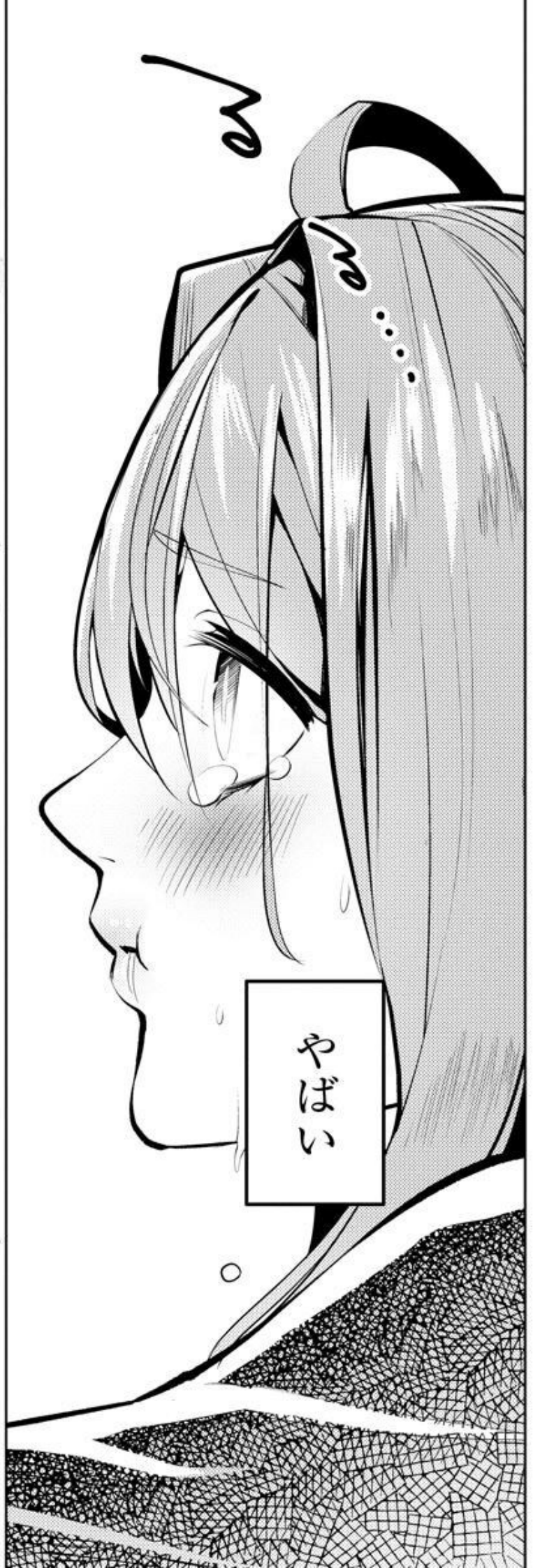
なんか

やばい

おまえ本当は  
外でこうやって  
犯されるのが

好きなんだろ

ちが…







…わかったら？



自分が  
どんな女  
なのか…



昔は  
嫌悪感が  
勝<sup>まさ</sup>って認め  
られなかった

この…



そうだったんだ

動くぞ

先生との  
セックスで  
感じていた  
物足りなさは

これだったんだ



開放感と  
快楽を



もっとう

もっとう

もっとう!!



え

姫菜<sup>ひな</sup>さん  
実家に  
引っ越ししたん  
ですか？

今週末  
一緒に過ごそう  
って話してた  
じゃないか

ごめんなさい  
先生

もう  
切らないと

ちよ

あなたも  
姫菜帰って  
きたわよー

おー

おかえり

…ただいま



***End***

**発行所 株式会社ぶんか社**

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。  
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、  
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を  
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな  
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

<http://webcyberia.com>

